

意見交換会（宇治市都市計画マスタープラン）議事録
対象：山間地域

日時：2021/10/12 15：30～17：30

会場：アクトパル宇治

参加者：25名

宇治市：米田副部長、中本副課長、森田係長、藤田主任

マスタープラン検討部会：岡田委員

発言者	内容
参加者① (二尾)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40年ほど前に「宇治市のまちづくり」という冊子を貰っており、それには「東笠取は農業の振興、西笠取と二尾、池尾でレクリエーション施設、炭山は陶器の伝統産業の地域」としてまちづくりを行うことが書かれていたが、その計画もいつの間になくなってしまっている。 ・ 笠取振興協議会の取り組みとして、炭山で交通弱者の助け合い事業を行っているが、事業者も将来は高齢になり、続けることが難しくなるため、乗り合タクシーなどの交通対策をして欲しい。 ・ 笠取第二小学校での取り組みで、地域の活性化や児童数減少の対策のために空家を探してきたが、住居に使える空き家が見つからず、昨年度、入学したいとの問い合わせが4件あったが、空家が無いため実現しなかった。 ・ このような実態を踏まえてマスタープランを作成し、一つでも出来ることを進めて欲しい。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昔の計画については、アクトパル宇治の開設や水道整備など、実施している施策もありますが、全体的に見ると進んでいない部分もあります。時代と共に社会状況も変わるため、計画も時代に応じて見直していく必要があります。マスタープランも今回、現状に応じたものになるように見直しを行います。 ・ 交通の問題は本市も大きな課題と認識しています。公共交通体系基本計画をつくり、今ある公共交通を維持しつつ、人それぞれのニーズに合った交通の在り方を検討しています。炭山での検討についても引き続き検討していきたいと考えています。 ・ 空き家については、本市も空き家対策室を設けて対策に取り組んでおり、実態について伝えておきます。
参加者② (西笠取)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地からこちらに来る人も公共交通がなく困っており、運行バスがないかとよく聞かれる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の小学校が特認校制度によって校区外からも生徒を受け入れているが、現在、生徒数が1名しかいない。生徒が卒業した後、学校はどうなるのか。特認校制度は継続できるのか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の問題については、伺った内容を関係部署に伝えておきます。
参加者③ (東笠取)	<ul style="list-style-type: none"> ・西笠取では、ふれあいセンターやアクトパル宇治などの施設が整備されているが、東笠取では農業振興地域のため、土地利用を農地から変えることが出来ない。地域では高齢化が進んで一人世帯が増え、空き家も増えているため、農業振興地域の規制を外して欲しい。このままだと地域が活性化せず、ますます閑散となる。 ・足の不自由な高齢者のために、アクトパルやふれあいセンターのバスやスクールバスを利用できないか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・東笠取の状況については、長い間、協議していますが、なかなか進んでいないことは認識しています。農業振興地域の規制を外して欲しいという意見は他でもよく受けており、農林茶業課で検討しているところです。東笠取は都市計画区域外のため、規制を外すと土地利用の規制が無くなってしまふことから、そのことの整理に時間を要している状況です。今回の意見も農林茶業課に伝え、引き続き東笠取のまちづくりについて検討します。 ・高齢者の移動手段の問題については、現在、公共交通体系基本計画をつくり、人それぞれのニーズに合った交通を提供できるように検討しています。バスの他にもタクシーの有効活用など様々な手法について検討しているところです。
参加者④ (炭山)	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合い支援事業をしているが大変である。地域づくりの基本方針②5-2 交通の方針(1)に「助け合い支援事業に支援を行う」とあるが、「支援する」のではなく宇治市が主体的に取り組んで欲しい。スクールバスの利用についても何年も前から伝えているが進んでいない。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・炭山地域では実際に支援事業をされているため、その取り組みに対して「支援する」としてはいますが、宇治市の交通の取り組みについては、全体構想の方で記載しており、移動ニーズに対応するための交通手段としてどのようなものが良いのか検討しているところです。
参加者⑤ (炭山)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通体系があれば、いつまでも住み続けることができ、地域の過疎化も防げる。スクールバスや乗り合いタクシーなどを考えて欲しい。 ・空き家の修繕に補助金を出してもらおうと若い人が来やすくなる。他府県では補助金の制度があると聞くので、そのような制度を設けて欲しい。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市全体でも空き家は増えており、空き家が増えるとまちが衰退

	<p>するため、重要な問題と認識しています。空き家対策室で、空き家が発生する原因を調査し、空家を増やさないようにするための周知活動に取り組んでいます。現在は、その取り組みが進んできたため、次の施策として行う取り組みについて検討しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回いただいた意見についても空き家対策室に伝え、引き続き検討を行います。
参加者⑥ (炭山)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通体系づくりについては、炭山から沢山の意見を提出したが、その内容がマスタープランに反映されていない。山間地域に交通の課題があることの1行くらいは書いて欲しい。 ・マスタープランは住民とつくり上げる計画だが、1回だけの会合で十分なのか。出席しても何も変わらないと思っている人もおり、パブリックコメントでもあまり意見が提出されていない。ここで出た意見も本当に反映されるのか。市民の声が反映されたマスタープランにして欲しい。 ・地域別構想の内容について、もう既に無くなっている施設が地域の中心施設として記載されている。また、「地域内には公共交通機関が無く」との記載がある一方で、「既存公共交通機関を基盤とした対応が必要」とも記載されており、内容が矛盾している。更に現状の課題の中に「新たな移動ニーズへの対応が必要」とあるが、山間地域の交通ニーズは昔からあるもので「新たな移動ニーズ」では無い。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の課題について、マスタープランに関連する計画として、公共交通体系基本計画を策定して取り組んでいるところです。マスタープランは大きな方向性を示したもので、詳細な課題まで掲載できない部分がありますが、地域の問題も関連計画の中で検討しています。 ・古い施設名の記載が残っていることは確認不足でした。申し訳ございません。 ・既存交通の記載については、「市域全体として、鉄道やバスなどの既存公共交通を今後も存続させること」が大きな課題であるため、まずはそのことについて記載しています。そして、その上で「その既存公共交通に至るための移動ニーズ」について、新たな移動ニーズの検討も含めて考える必要があることから、「新たな移動ニーズ」と言う記載の仕方になっています。表現が伝わりにくいので一度整理します。
参加者⑥ (炭山)	<ul style="list-style-type: none"> ・以前のマスタープランでも、交通の方針で「バスなどの公共交通機関の充実」と書かれていたが、結果的に導入されていない。そして、今回はその言葉が消えている。消した理由は何か。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・消した訳ではありませんが、バスに限らず新たなニーズに対応する

	<p>公共交通を検討しているため、そのような表現に書き方を変更しています。公共交通体系基本計画と表現を合わせています。</p>
<p>参加者⑦ (東笠取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東笠取の農地は、農業振興地域であるにも関わらず、農道も整備されずに放置されている。農業委員会からは農業振興地域の規制を外すとの回答を貰っているが、まだ外されないままになっており、規制がある場合と無い場合とでの、どちらの恩恵も受けられない状態である。西笠取と比べても東笠取は農道整備などが行われていない。 ・笠取の学校は生徒がほとんどいないが、学校を中心に地域がまとまっているので、通う生徒がいなくなっても学校をなくさないで欲しい。 ・災害が起きた時、ハザードマップの避難場所のアクトパル宇治まで逃げるのが困難である。集会所のような他の公共施設をつくって欲しい。 ・道路も敷設されてから、改修が行われず放置されている。他の場所だけでなく、東笠取の道路にも事業として力を入れて欲しい。
<p>宇治市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市も笠取が地域によって実状が異なることは認識しており、実状の違いも考慮してまちづくりを行う必要があると考えています。 ・学校やハザードマップ、道路についても課題があることを認識しており、伺った内容は各関係部署に伝えます。
<p>参加者⑧ (東笠取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に一人住まいが増えており、居住者が家で亡くなっているのに、すぐに発見できなかったケースが出ている。このようなことを防ぐ方法を考えて欲しい。 ・緊急無線を宇治市から貰っているが、電波の受信が悪く無線が入らない。電波を受信できるようにして欲しい。 ・東笠取に集会所を建てる話を聞いているが、実現していない。 ・空き家の問題について、空き家に居住して農業をやろうとする人がいても、農業振興地域の規制により、入居者に農地を売買することが出来ない。空き家の問題は、農業振興地域の規制など、空き家に人が入居しない原因となっている他の問題とあわせて対策していかないと前に進まない。
<p>宇治市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域、集会所、防災無線の問題について、先ほどの意見とあわせて、関係部署に伝えます。 ・一人住まいの方の安否確認については、地域の助け合い支援などを行っている部署を一度確認し、問題について伝えておきます。
<p>参加者⑨ (炭山)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市政懇談会などで宇治市の事業について色々と意見しているが、出来上がった計画を見ても文言が全く変わっていない。ここで意見しても、それに基づいて計画が変わらなければ意味が無いので、意見を

	<p>反映させて欲しい。もし、計画が変わらなくても、出された意見に対する宇治市の見解の説明が欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスタープランに色々な取り組みが書かれているが、具体的な予算措置はあるのか。断水が起きても宇治市から区長の元に連絡はいくが、防災無線の問題のように、それを一斉に住民に知らせることもできない。土砂災害警戒警報が出て避難場所にも行けない。最近では土砂災害特別警戒区域が指定されたことで資産価値が下がり、銀行から融資が受けられなくなっている。地元からも区域を外して欲しいと声が出ている。区域に指定するなら固定資産税を少なくするなどの代替措置が必要ではないのか。これらの問題を解決するための予算を付けて欲しい。予算が付かないのに色々と施策を提示されても意味がないので、具体的に予算が付く（施策を行う）順番を提示して欲しい。
参加者⑩ (炭山)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の問題は大きな問題で、前のマスタープランでも、「地域内の児童数が少なく、地域に住む若い世代の育成のために教育環境の充実が必要」と書いてある。新しいマスタープランにも、主な課題として「学校の存続」、「教育環境の充実」を言葉として入れてほしい。 ・公共交通の記載についても「既存の公共交通」「新たなニーズ」と言う書き方は山間地域には合わないと思うので検討して欲しい。
参加者⑪ (炭山)	<ul style="list-style-type: none"> ・昔から炭山で焼き物をやっており、炭山全体で40軒近くが焼き物をしている。最近は若い人も焼き物をするために入ってきたり、古い工場を改修して焼き物を始めている人なども出てきている。ものづくりをしたいという若い人はいる。若い人が住むと人口や小学校の児童も増え、交通の需要も増えて、まちが良い方向に変わると思う。宇治市も地域産業の応援をして欲しい。
参加者⑫ (炭山)	<ul style="list-style-type: none"> ・一番切実なのは交通の問題だ。何十年も要望して来たが何もできていない。高齢化が進んでおり、ボランティアで助け合い事業をしている人もこの先できなくなる。宇治市はそれらの事業に「支援する」のではなく、主体となって行動して欲しい。
参加者⑬ (東笠取)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用方針で「優良な農地や森林の生産活動の場として維持保全に努める」とあるが、何もしてくれていない。 ・「貴重な自然や棚田などの優良な農地が残されている地域を保全」とあるが、棚田は普通の田の2倍以上の手間がかかるため、仕事が出来ない。農業振興地域の規制を外して欲しい。 ・水路整備も金が無いので整備できないと担当課からは言われており、形だけのことを書かれても信用できない。 ・炭山や笠取などの地域別に分けて、まちづくりを考えて欲しい。

宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランで謳える範囲は決まっていますが、地域には土地利用の規制以外にも様々な問題があることは認識しています。今日、頂いた意見はそれらを担当する各部署にしっかりと伝えます。 ・インターネットでも今回のオープンハウスに関する資料や説明動画、アンケート調査も用意しているので、利用できる人には皆さんからも是非案内して頂ければと思います。また、今後の取り組みにもパブリックコメントなどで、市民の方々からの意見を伺いながら取り組んでいきたいと考えています。
参加者⑭ (池尾)	<ul style="list-style-type: none"> ・台風などの災害が来ると山の木が倒れて道路をふさいだりするが、木の間伐の取り組みについて補助金を出す制度はあるか。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・山については農林茶業課が担当しているので一度確認します。
参加者⑨ (炭山)	<ul style="list-style-type: none"> ・炭山でもまちづくり協議会で危険木調査を行い、毎年、結果を宇治市に提出しているが、「市道に危険木はありません。」という回答が返ってくるだけである。市道には危険木は生えていなくても、道路に隣接する民地には危険木が生えており、宇治市は「民地の所有者の責任」とするだけで放置されたままなので、住民で対応している。住民に任せるとはせず宇治市で行って欲しい。
宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・危険木は、本市も地権者に連絡して伐採してもらうように働きかけていますが、費用の問題などにより、すぐに行ってもらえない場合も現状としてあります。これらの問題についても、伺った内容を関係部署に伝えます。
マスタープラン 検討部会委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も過疎地域の問題については切実な問題として理解している。 ・以前、宇治市がマスタープランを作成した時、都市計画審議会でも計画がどこまで出来ているのか随時確認して欲しいと言う事を伝えたが、それが出来ていない。もし確認が出来ていれば、マスタープラン検討部会でも、もう少し色々なデータがある中で、地域の問題に対してもマスタープランに落とすべき内容が分かったはずだが、それが出来ていなかったため、そのことは宇治市に対して指摘している。 ・ただし、今回の計画が前回までと大きく違う点は、前回までの計画では「都市は成長していく」という前提で計画を立てていたが、今回は社会情勢的に「都市が成長を続けることは無理である。」という見解に立っており、前回までの計画から根本的に発想転換して計画を考えている。そのため、計画を実行した先の変化が読めないことから、計画どおりにまちづくりが進んでいるかどうか随時見直しを行い、修正しながら進めていくことが前提の計画となっている。従って、計画ができた後もしっかりと計画の進捗確認のプロセスが担保される

	<p>はずで、今回のような地域の現状把握のために市民の皆さんから意見を伺う機会も含めて、今後はシステムチックに行われるはずである。</p> <ul style="list-style-type: none">・個人的な意見だが、まちづくりの見直しの方法として、行政での取り組みだけでなく、市民の皆さんから計画に対して提案を行う方法もある。今回、皆さんが意見された問題についても是非データをとって頂き、その積み上げたデータを基に問題を提起して頂くと、行政の受け取り方も違ってくるのではないかと考えている。・マスタープランの検討で、これまで皆さんからオープンな形で意見を聞く機会がなかったことは良くなかったが、これは都市計画だけに限らず、他の取り組みに対しても言えることで、オープンな形で皆さんから意見を伺うと同時に、逆にみなさんがどのような協力ができるのかということも併せて、協議したり、相談したり、情報交換する場が必要だと思う。・今後、マスタープランは皆さんの意見を汲んで一旦は出来上がるが、その後の進捗に対しても、皆さんに積極的に関わって頂きたい。
--	---